

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 3月 15日

事業所名: アバンツアーレスポーツなご

従業員数 7名 回答者7名 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	5		・利用人数が多く、悪天候でない時には、公園に出かけるなどして対応している。 ・活動内容を工夫している。	・人数の多い日にはスペースが狭くなるので、外に出るなどの工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	4		出入口が階段のみのため、斜面を作る等の工夫が必要ではないかと検討。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1		・会議や委員会等、従業員が積極的に参画できる場がある。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	1		定期的なアンケートを行うことで、より保護者の皆様の要望や意見を取り入れることを検討。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		ホームページで毎年公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・オンラインでの研修を行っている。	従業員の質向上のため、障がいに対する知識やサッカーの技能に関する研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	・運動発達、社会性発達の指標を活用している。療育の研究をチームで行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・日々の予定、長期休暇中のイベントなどを従業員全員で立案、実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		・季節やその日の利用者に合ったプログラムを行なっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		・室内で過ごす時間が長い時には、勉強の声掛けを行い、学習指導も行う。	様々な課題を考えて取り組むため、具体的細やかに設定する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		・利用するメンバー、児童の様子などに応じてサッカー療育の内容を変更している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・支援の前に児童の様子等を従業員間で情報共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3		・翌日などに振り返り、情報交換を行っている。 ・児童の送迎後、様子や保護者とのやり取りなどを従業員間で共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		・実績記録に、児童の様子がわかるように記載して記録している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・児童の様子について従業員全体で話し合う機会を設けている。今後も児童の変化に応じて計画を立てている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1			・保護者と連絡のつかないこともあるので、学校と連携し手下校時刻等の確認を行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	2		就学前の情報をあまり知ることができていないので、情報共有に努めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5		児童クラブや児童館と連絡を取り、一緒に活動できる場を考えていくことを検討。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	3		児童の様子をこまめに保護者に伝えるようにして、共通理解ができるよう努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	3		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4		今現在、保護者の交流の場がほとんどないので、交流できる場を設けることを検討。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・従業員間で情報共有し、解決策を考えて実行している。	すぐ
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1	・会報誌の発行、SNSで情報発信を行っている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1		・外部に流出することがないよう、写真の掲載等に気をつけている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5		
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	2	・各マニュアル作成に取り組んでいる。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		・避難訓練を定期的実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		・定期的に虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・毎朝の朝礼で前日のヒヤリハット事例をあげて共有している。	